

揖斐郡学校保健会

会長 野田 宜輝

1. 令和3年度の予算額 769,600 円

2. 令和3年度の主な事業とその内容

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度に引き続き、郡学校保健研修総会、郡学校保健環境調査等が中止となったが、そうした状況の中でも揖斐郡の学校保健会として継続している「いびの子のからだ」の調査出版事業、「揖斐郡三師会と養護教諭との交流会」事業を行った。また揖斐郡では令和4年度に「岐阜県学校保健研究大会」が行われるため、年4回開催した郡学校保健会理事会に合わせて、県大会の実行委員会を行い、研究発表等に向けて揖斐郡で共通理解・連携を大切にしながら取組を進めてきた。

【いびの子のからだ】調査出版事業】

揖斐郡では、学校保健会を構成している揖斐郡養護教諭部会、保健主事会、栄養教諭（職員）部会、体育主任会により毎年健康・体力の調査活動を行っている。また実践にあたっては三師会の先生方のご指導を受けながら取組を行っている。令和2年度は簡略化した特別号の発行となったが、本年度は次の内容で第68号を発刊した。

《健康状態》 疾病・異常疾患患者数、う歯の状況、発育の状況、肥満度による体格の様子

《体力テストの結果》 小学校新体力テスト（郡平均の推移、郡平均・県平均との比較と考察）

《食に関する指導の実践》

《保健関係表彰の記録》

令和3年度の改善点として単なるデータの提示だけでなく、項目の持つ意味やデータの分析と働きかけなど健康へのメッセージ性を強め、各校の学校保健会や日常の指導に役立つものにしていくことを大切にした。

3. 今後の課題

第61回の県大会の取組とも関連させながら、健康に対する正しい知識を身に付け、積極的に活用するための授業や実践に取り組む必要がある。